

第5次朝霞市総合計画 基本構想（骨子案）

- 第1章 将来像と将来像を実現するための基本コンセプト
 - (1) 将来像
 - (2) 将来像を実現するための4つの基本コンセプト
- 第2章 基本構想を実現するために
 - (1) 構想推進のための基本方針
 - (2) 構想実現のために大切にしている視点
- 第3章 基本構想を実現するために行う政策の柱とその方向性

基本構想のイメージ図

第1章 将来像と将来像を実現するための基本コンセプト

(1) 将来像

～「私が 暮らしつつきたい
(つづける)まち 朝霞」～

私たちのまち「朝霞」には、子どもたちからお年寄りまで、たくさんの人が暮らしています。このまちに住んでいる人も、学んでいる人も、働いている人も、「朝霞」に関わりのある全ての人が「朝霞」というまちを愛し、「朝霞に暮らしつつきたい」「朝霞にいたい」「朝霞に来たい」と思えるようなまちをみんなで作りたいと思います。

(2) 将来像を実現するための4つの基本コンセプト

安全・安心なまち

子育てがしやすいまち

つながりのある元気なまち

自然・環境に恵まれたまち

「私が暮らしたい(つづける)まち」ってどんなまちだろう。
そう、一人ひとりが考えて、その一人ひとりの考えや思いを合わせて、この「朝霞」というまちをつくっていただけたらいいなと思います。

私が、そして私たちが、どんなまちにしたいかを考えるための入口として、4つの基本コンセプトを掲げます。

この入口から、あなたが「暮らしたい(つづける)まち」のイメージを広げてみてください。

そして、このまちが、あなたの描くイメージに近づいているかどうか、しっかり見守っててください。

将来像と将来像を実現するための4つの基本コンセプト

安全・安心なまち

安全・安心なまちとは、私が「日々の暮らしの中で、また、いざというときも、安全で安心して暮らしていける」と思えるようなまちです。

日々の暮らしでは、安心して子どもを育て、いきいきと働き、人生を楽しみ、落ち着いた老後をごせるまちにしなければなりません。また、誰もが安全に不自由なく行動し、事故や事件に巻き込まれる不安をかかえることなく、毎日をごせるまちをめざしたいと思います。

もちろん、地震や水害などの被害を少なくできるよう日頃の備えをし、万一災害が起きたときも、みんなで助け合って乗り越えていける、そんなまちに暮らしたいと思います。

子育てがしやすいまち

子育てがしやすいまちとは、私が「このまちで子どもを育てていきたいと思える」そして「子育ての喜びを実感できる」ようなまちです。

そのためには、子どもたちがのびのびと学び、遊べる環境が整い、私たちが安心して楽しく子育てできる様々な支援が充実しているまちであってほしいと思います。

また、自然や文化に接しながら、子どもたちが人間性豊かに成長し、そして、しっかりとした質の高い教育を受けられる、そんなまちに暮らしたいと思います。

将来像
～「私が 暮らしつづきたい
(つづける)まち 朝霞」～

つながりのある元気なまち

つながりのある元気なまちとは、私が「いつまでも若々しくいきいきと暮らし、さまざまな人とつながって、人生をエンジョイ」できるまちです。

そのためには、個人の生き方や生活スタイルを尊重し合いながら、地域に住むみんながゆるやかにつながって自分たちのまちを自分たちにとって住みよいまちにしていけたらいいな！と思います。

また、近くに元気な商店街があって、お年寄りも気軽にお買い物ができるなど、住宅街とちょっとおしゃれな商業地、新鮮な野菜が育つ農地、工場などの事業地が、まちのなかにバランスよくあれば、地域で働く機会も増え、もっともっと活気のあるまちになると思います。そんなまちに暮らしたいと思います。

自然・環境に恵まれたまち

自然・環境に恵まれたまちとは、私が「このまちの四季折々の花や草、木、生き物、川や湧水など、自然が豊かだな」と感じられ、「このまちを育んできた歴史や文化、伝統を大切に」できるまちです。

そのためには、このまちの自然や環境を守り、育て、さらに魅力を引き出していくことが大切だと思います。

このまちのすばらしさを、みんなが自信を持って話せるような、自然と文化、そして、このまちに住む人たちの輪を誇れるような、そんなまちに暮らしたいと思います。

第2章 基本構想を実現するために

(1) 構想推進のための基本方針

パートナーシップ(協働)によるまちづくり

この基本構想がイメージしている「まちづくり」とは、めざす将来像である「私が暮らしてつづけたい(つづける)まち 朝霞」を実現していくことです。

一人ひとりの私が暮らしてつづけたいと思うまちを実現していくためには、一人ひとりが寄り集まって、力を合わせていく必要があります。

わたしたちのまちは、一人ひとりを大切にしながら、ゆるやかに大きな輪をつかって、それぞれの個性や役割に応じた力を集めて、みんなのまちをつかっていきたいと思えます。

(2) 構想実現のために大切にす視点

思いやりをもって

一人ひとりが責任をもって

経営的な視点をもって

将来像「私が暮らしたい（暮らしてあげる）まち 朝霞」を実現していくためには、その暮らしを支える具体的な政策が必要になります。

「こんなまちにしたいな」という思いを集めて、具体的な市の政策を立てていくときに、大切にしたい視点を3つ掲げます。

これらの視点は、4つの基本コンセプトに基づいて描いた「私が暮らしたい（暮らしてあげる）まち 朝霞」を実現するための具体的な計画を立てる時に、ちゃんとこの3つの視点が大切にされているかどうかを確認し合いたいと思うのです。これらの視点が忘れられていると、やはり「暮らしたいまち」にはならないと思うからです。

① 「思いやりをもって」

- ・一人ひとりの生き方や生活スタイルを尊重し、お互いに支え合う心を大切にしたいです。
- ・お年寄りや障がいのある方、子どもたちなど、みんなが暮らしやすいまちにしたいです。

② 「一人ひとりが責任をもって」

- ・一人ひとりが、それぞれの責任を自覚し、互いに協力し合って暮らし続けるまちにしたいです。
- ・一人ひとりの市民の思いを大切にす、開かれた市政が行きわたるまちにしたいです。

③ 「経営的な視点をもって」

- ・納めた税金や、まちづくりに参加したことが、このまちをよくするために役立っていると実感できるまちにしたいです。
- ・安定し計画性のある行政運営が行われる、豊かなまちであってほしいです。

災害対策、空間整備
高齢者、健康、医療
子育て、地域福祉、障害者福祉
学校教育、生涯学習、芸術文化
市民生活、自然・環境
まちの魅力、産業、コミュニティ

基本構想のイメージ図

